MASPRO

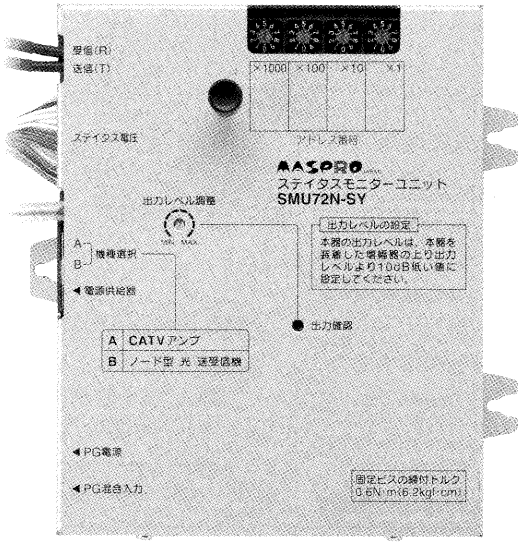
CATV ステイタスモニター ユニット

取扱説明書

STATUS MONITOR UNIT
送信周波数 23.75MHz
受信周波数 74.25MHz

SMU72N-SY

双方向CATVアンプまたはノード型 光 送受信機に取付けて，増幅器や電源供給器の作動状態をCATVセンターで監視できるようにするステイタスモニターユニットです。



停電作動の監視が可能な無停電 電源供給器

MPS603 CD2, MPS603SFT, MPS605SFT, MPS605SFT2, MPS605T2, MPS605E, MPS605E2, MPS615ACS, MPS615SFT

取付け可能な双方向CATVアンプまたはノード型 光 送受信機については，本社工事営業部までお問合わせください。

MASter of PROduction
生産の精鋭

大規模共同受信に対応する機能

豊富な監視・制御機能

大規模共同受信施設の運用に必要な機器の監視・制御(双方向CATVアンプは，11項目，ノード型 光 送受信機は，13項目)がCATVセンターで行えますから，施設の保守・点検が容易です。

5つの上りゲート回路を制御可能

双方向CATVアンプの5つの上りゲート回路の開閉および㊀6dB運用を，各ゲート毎に独立してCATVセンターから制御できますから，上り回線の流合雑音を最小限に保つことができます。

無停電 電源供給器インバーター作動の監視

無停電 電源供給器のインバーター作動監視端子と接続して，インバーターの作動をCATVセンターで監視できますから，商用電源の停止した場所を簡単に特定できます。

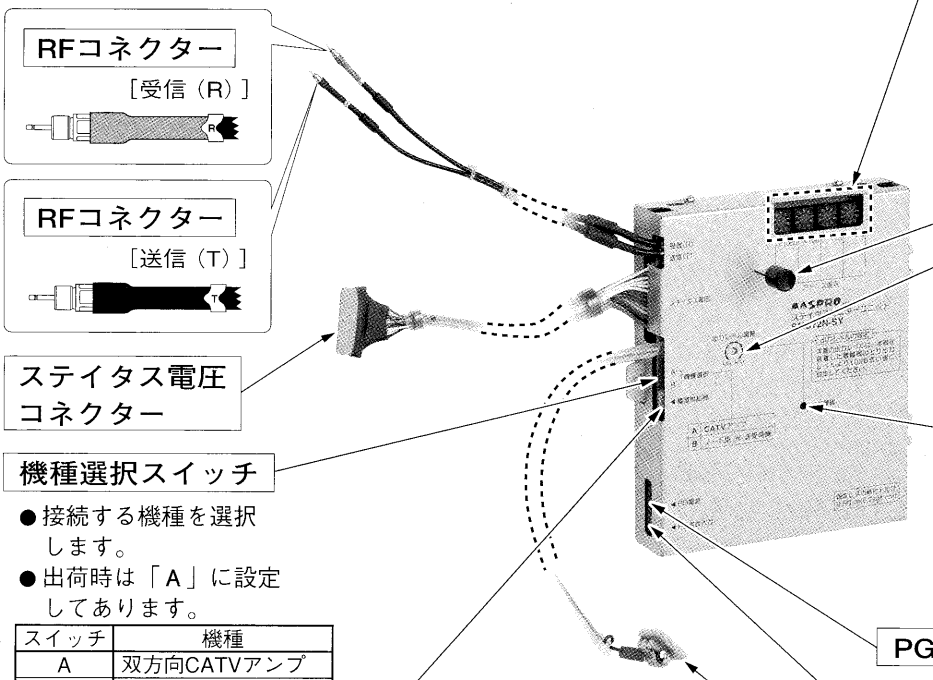
ノード型 光 送受信機の通信状態を監視

ノード型 光 送受信機に，本器を取付けることによって，CATVセンターから，ノード型 光 送受信機の通信状態が監視できますから，ケーブルなどの異常で，ノード型 光 送受信機とCATVセンター間が不通になった場合，その場所を簡単に特定できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの
MASPRO
＝マスプロ電工＝

各部の名称と機能



RFコネクター
［受信（R）］

RFコネクター
［送信（T）］

ステイタス電圧コネクター

機種選択スイッチ
- 接続する機種を選択します。
- 出荷時は「A」に設定してあります。

スイッチ	機種
A	双方向CATVアンプ
B	ノード型 光 送受信機

- p.4「監視・制御項目」をご覧ください。

電源供給器用端子
- 電源供給器のインバーター作動状態を監視します。
- p.3「電源供給器との接続」をご覧ください。

アドレス番号設定スイッチ
- アドレス番号を設定します。
- 出荷時は「０００００」にしてあります。
- p.3「アドレス番号の設定」をご覧ください。

フタ開閉センサー
双方向CATVアンプまたはノード型 光 送受信機のフタの開閉状態を検出します。

出力レベル調整
- 出力信号（23.75MHz）のレベルを0～⊖14dBの範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は，出力レベルを「87dBμ」に調整してあります。

出力確認スイッチ
- 出力レベルを設定する場合，無変調の信号を連続して出力します。
- スイッチを押している間，信号を出力します。
- スイッチは，細いドライバーなどで押してください。

PG電源用端子
PG用DC24Vの電源端子です。

PG混合入力用端子
PGの信号を混合入力するための端子です。

浸水センサー
双方向CATVアンプまたはノード型 光 送受信機への水の浸入を検出します。
下記「浸水センサーの取付」をご覧ください。

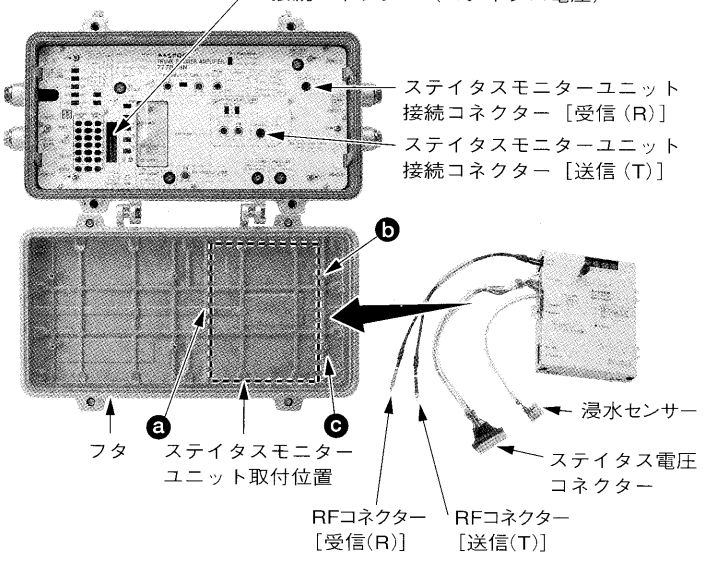
ユニットの取付け

① **SMU72N-SY**を双方向CATVアンプまたはノード型 光 送受信機のフタに取付け，固定ビス❹・❺・❻を締付けます。　締付トルク[0.6N・m(6.2kgf・cm)]

② 「ステイタス電圧コネクター」を双方向CATVアンプまたはノード型 光 送受信機の「ステイタスモニターユニット接続コネクター（ステイタス電圧）」に接続します。

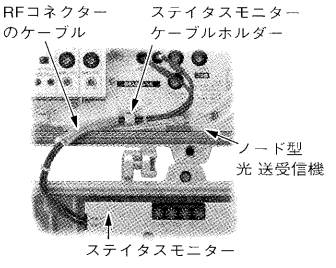
③ RFコネクター[受信(R)]，RFコネクター[送信(T)]を双方向CATVアンプまたはノード型 光 送受信機の「ステイタスモニターユニット接続コネクター[受信(R)]」，「ステイタスモニターユニット接続コネクター[送信(T)]」に接続します。

77TB-45Nの場合



ご注意

ノード型 光 送受信機の場合，RF コネクターのケーブルを光 送受信機のステイタスモニターケーブルホルダーに固定してください。固定しないと，光 送受信機の光ファイバーコードの破損の原因となることがあります。



浸水センサーの取付け

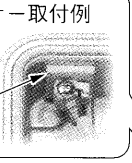
浸水センサーは，双方向CATVアンプまたはノード型 光 送受信機をメッセンジャーワイヤーに取付けた状態で，地面に近くなる方（❹または❺の位置）に取付けます。

ご注意

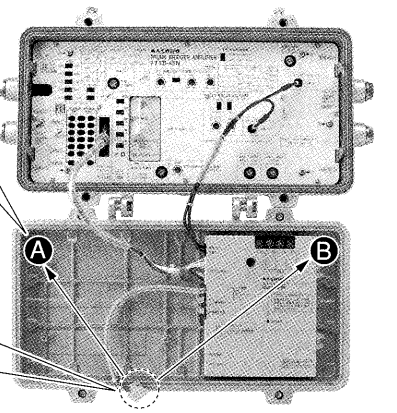
- 浸水センサーは，双方向CATVアンプまたはノード型 光 送受信機の内部に接触しないように取付けてください。接触するとステイタスモニターが誤作動します。
- 浸水センサーを張付ける面の油分・水分・ホコリなどを，必ず拭取ってください。

77TB-45Nの場合

浸水センサー取付例



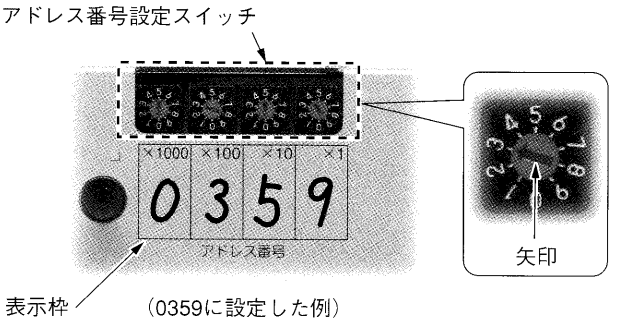
浸水センサーは，裏側のはく離紙をはがして張付けます。



アドレス番号の設定

調整用ドライバーで「アドレス番号設定スイッチ」を回し，「矢印」を設定する「番号」に合わせます。

- アドレス番号は，０００１～９９９９まで任意の番号を設定できます。
- 設定後は，アドレス番号をユニットの表示枠内に記入しておくと，メンテナンスのときに便利です。



出力レベルの設定（双方向CATVアンプの場合）

ご注意

出力レベルを設定するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと，こわれることがあります。

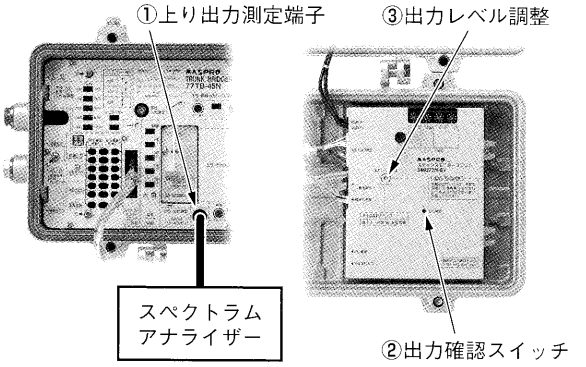
① スペクトラムアナライザーを双方向CATVアンプの上り出力測定端子に接続します。

② **SMU72N-SY**の「出力確認スイッチ」を押しながら，23.75MHzのレベルを測定します。

③ **SMU72N-SY**の「出力レベル調整」を調整用ドライバーで回し，双方向CATVアンプの上り出力レベルより10dB低い値に調整します。

詳しくは，双方向CATVアンプの取扱説明書の「**標準入・出力レベル表**」をご覧ください。

77TB-45Nの場合



出力レベルの設定（ノード型 光 送受信機の場合）

ノード型 光 送受信機の上り（10～55MHz）入力レベルが，正しく調整されていることを確認してください。

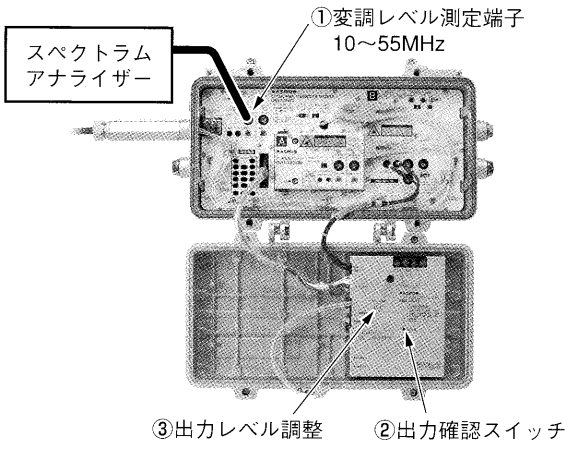
① スペクトラムアナライザーをノード型 光 送受信機の「変調レベル測定端子」に接続します。

② **SMU72N-SY**の「出力確認スイッチ」を押しながら，23.75MHzのレベルを測定します。

③ **SMU72N-SY**の「出力レベル調整」を調整用ドライバーで回し，ノード型 光 送受信機の変調レベルの最適値より10dB低い値に調整します。

詳しくは，ノード型 光 送受信機の取扱説明書の「**上り（10～55MHz）変調レベルの調整**」をご覧ください。

ON77TAW3の場合



電源供給器との接続

無停電 電源供給器側の接続は，電源供給器の取扱説明書をご覧ください。

接続には，別売の変換アダプター**FTFJ**とステイタスモニターケーブル**SMCC29**が必要です。

① 「AC 入力／補助入力」の空き端子栓を外します。

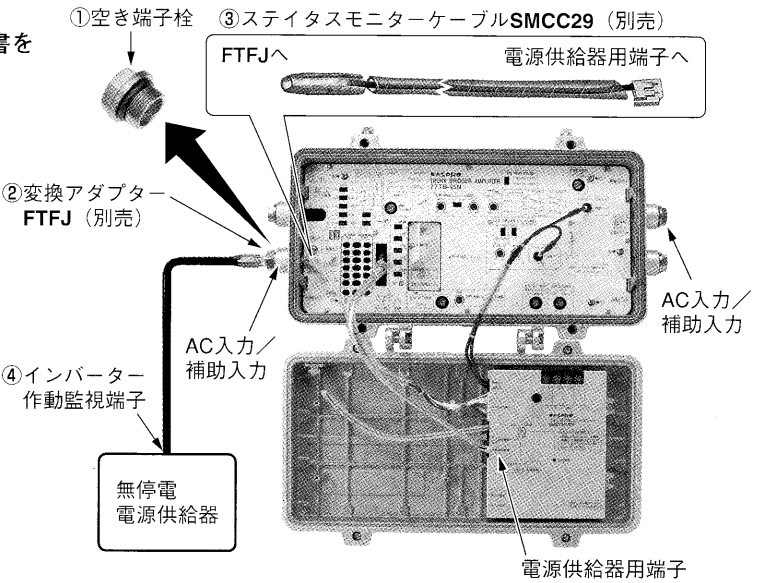
② 別売の変換アダプター**FTFJ**を取付けます。

③ 別売のステイタスモニターケーブル**SMCC29**を**SMU72N-SY**の「電源供給器用端子」と変換アダプター**FTFJ**へ接続します。

④ 変換アダプター**FTFJ**と無停電 電源供給器の「インバーター作動監視端子」を接続します。

（写真は左側の「AC入力／補助入力」を使用して接続した例です。右側の「AC入力／補助入力」も同様に使用できます。）

77TB-45Nの場合



正しく使用していただくために

ステイタスモニターが正常に作動しないときは，次のチェックをしてください。

- **アドレス番号は，正しいですか。**
  アドレス番号設定スイッチのチェック
- **機種の選択は，正しいですか。**
  機種選択スイッチのチェック
- **前段の双方向CATVアンプからステイタスモニターセンター装置までの上りゲート設定は，正しいですか。**
  ステイタスモニターの上り回線に使用しているゲートが「開」になっているかチェック
- **ステイタスモニターセンターモデムの入力レベルは，正しいですか。**
- **ステイタスモニターユニットの出力レベルは，正しいですか。**
  双方向CATVアンプの上り出力レベルまたはノード型光送受信機の変調レベルの最適値より10dB低い値に設定してありますか。
- **RFコネクターの［受信（R)］と，［送信（T)］は，正しく接続してありますか。**
  RFコネクターの（R)，（T）の表示と双方向CATVアンプまたはノード型光送受信機の［受信（R)］，［送信（T)］が合っていることをチェック
- **RFコネクター，ステイタス電圧コネクターは，正しく挿入してありますか。**
  コネクターを抜差ししてチェック
- **ステイタスモニターケーブルSMCC29は，正しく接続してありますか。**
  コネクターを抜差ししてチェック

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，お近くの当社支店・営業所または工事営業部までお問合わせください。

規格表

MASPRO

項目	規格
送信周波数	23.75MHz（占有帯域幅 ± 250kHz）
受信周波数	74.25MHz
変調方式	FSK（受信）／PSK（送信）
データ伝送速度	9600bps
搬送波ON・OFF比	50dB以上
最大出力レベル	90dBμ
出力レベル調整範囲	0～⊖14dB以上（連続可変）
入力レベル範囲	40～60dBμ
スプリアス	⊖50dB以下　※1 （**SMU72N-SY**の出力レベルが90dBμのとき，10～55MHz，70～771.25MHzの帯域において）
電源供給器用端子入・出力形式	無電圧接点入力　※2 （出力電圧DC5 ± 0.25V，電流13mA最大）
電源	DC24V
外観寸法	157(H)×142(W)×49(D)mm
質量（重量）	約550g

※1　ステイタスモニターユニットを取付けた双方向CATVアンプまたはノード型光送受信機を含む出力特性です。
※2　無停電電源供給器のインバーター作動監視方式は，外部電源方式（商用電源時：オープン，インバーター作動時：ショート）となります。

監視・制御項目

項目		機種選択スイッチ A	機種選択スイッチ B
2値監視	下り幹線増幅部AGC/MGC作動状態	○	○
	停電作動状態	○	○
	上りゲート状態　開/⊖6dB/閉(5回路)	○	
	ユニットA受光レベル低下検知		○
	ユニットB受光レベル低下検知		○
	下り主ユニット(A/B)切換状態		○
	フタ開閉	○	○
	浸水	○	○
アナログ監視	下り幹線増幅部AGC作動レベル	○	○
	AC電圧	○	○
	DC電圧	○	○
	DC電流	○	○
	内部温度	○	○
制御	上りゲート状態　開/⊖6dB/閉(5回路)	○	
	下り主ユニット(A/B)切換		○

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部　TEL名古屋(052)802-2244
工事営業部　〃　(052)802-2225
技術相談　〃　(052)805-3366
インターネットホームページ　www.maspro.co.jp

支店・営業所

沖縄	(098) 854-2768	熊本	(096) 381-7626
鹿児島	(099) 812-1200	長崎	(095) 864-6001
宮崎	(0985) 25-3877	福岡(支)	(092) 531-3861
		北九州	(093) 941-4026
下関	(0832) 55-1130	津	(059) 234-0261
広島	(082) 230-2351	岐阜	(058) 275-0805
松江	(0852) 21-5341	名古屋(支)	(052) 802-2233
岡山	(086) 252-5800	工事営業部	(052) 804-6262
松山	(089) 973-5656	豊橋	(0532) 33-1500
高知	(088) 882-0991	静岡	(054) 283-2220
高松	(087) 865-3666	松本	(0263) 57-4625
姫路	(0792) 34-6669		
神戸	(078) 843-3200	福井	(0776) 23-8153
大阪(支)	(06) 6635-2222	金沢	(076) 249-5301
工事営業部	(06) 6632-1144	新潟	(025) 287-3155
京都	(075) 646-3800		
横浜	(045) 784-1422	郡山	(024) 952-0095
渋谷(支)	(03) 3409-5505	仙台	(022) 786-5060
工事営業部	(03) 3499-5631	盛岡	(019) 641-1681
青戸	(03) 3695-1811	秋田	(018) 862-7523
八王子	(0426) 37-1699	青森	(017) 742-4227
千葉	(043) 232-5335		
さいたま	(048) 663-8000	函館	(0138) 53-7355
前橋	(027) 263-3767	札幌	(011) 782-0711
水戸	(029) 248-3870	釧路	(0154) 23-8466
宇都宮	(028) 660-5008	旭川	(0166) 25-3111
		北見	(0157) 36-6606

JAN., 2004

MASter of PROduction
住環境の創造者

2K55-594
B-41-4594-1L